



平成28年3月25日

各 位

会 社 名 三菱倉庫株式会社
代 表 者 名 取締役社長 松 井 明 生
(コード番号9301 東証第一部)
問 合 せ 先 業務部長 山 尾 聡
(TEL 03-3278-6489)

三菱倉庫グループ 新中期経営計画〔2016-2018〕の策定について

当社は、国内外の政治・経済・社会情勢の急速な変化に対応し、当社グループの一層の企業価値向上と将来に向けた成長力の強化を図るため、2019年3月期を最終年度とする新たな中期経営計画〔2016-2018〕を策定いたしました。

1. 基本方針

- (1) お客様のグローバルサプライチェーンの変化に対応する
国内外一体のロジスティクス事業の拡充
- (2) 不動産事業の収益基盤の強化と拡充
- (3) サービス品質の向上とCSRの推進
- (4) 経営資源の選択と集中

2. 基本戦略

前項の基本方針に基づいた戦略として、次の3項目を基本戦略とします。

- (1) 国内外一体のロジスティクス事業の拡充と事業基盤の強化
お客様起点を徹底し、国内外一体のロジスティクス事業の領域拡大を図ります。
また、同事業の基盤強化のため組織再編等による体制整備を進め、サービス品質の向上とコスト競争力の強化を図ります。
- (2) 賃貸を中心とする不動産事業の拡充
不動産事業の長期安定した収益性を確保するため、既存賃貸施設の機能の維持・向上及びビル賃貸事業以外のビジネスの拡大を図ります。
- (3) グループ経営基盤の強化
グループ経営強化と経営資源の選択と集中を進め、グループ全体の生産性向上を図ります。また自然災害対策を始めとするリスク管理、地球環境対応、コンプライアンス、CSRを徹底し、あわせて適正な資本政策の実施と財務健全性の確保により企業価値の向上を図ります。

3. 計画期間・業績目標

(1) 期間

2016年度～2018年度（3カ年）

(2) 業績目標（2018年度。連結）

営業収益 2,400億円

営業利益 155億円

経常利益 175億円

EBITDA 288億円

（EBITDA＝営業利益＋減価償却費）

（参考）2018年度目標と2015年度予想との比較

連結業績数値

（単位:億円）

		2015年度 (H27年度)	2018年度 (H30年度)	2015/2018年度比	
				増減額	増減率
営業収益	合計	2,150	2,400	+250	12%
	物流事業	1,771	2,020	+249	14%
	不動産事業	398	400	+2	1%
	セグメント間取引	-19	-20	-1	—
営業利益	合計	117	155	+38	32%
	物流事業	66	92	+26	39%
	不動産事業	100	113	+13	13%
	全社費用	-49	-50	-1	—
経常利益		140	175	+35	25%
EBITDA		254	288	+34	13%

（注）2015年度(H27年度)は対外発表予想数値

4. 投資計画

期間中に総額600億円（物流300億円、不動産300億円）の投資を予定しております。

以上